

#### 第 44 号様式別表 4 記載のしかた

1 この計算書は、事業所用家屋である家屋に事業所等の用に供する部分（以下「事業所部分」という。）に係る共同の用に供する部分（以下「共用部分」という。）がある場合に第 44 号様式別表 1 に添付すること。

したがって、一の事業所等が家屋全体を専用している場合又は家屋の一部を専用しているが共用部分がない場合は、添付の必要がないものであること。

2 印の欄は記載しないこと。

3 の欄は、共用部分以外の部分（以下「専用部分」という。）での欄の共用部分に関連を有する専用部分の延べ面積（1 平方メートルの 100 分の 1 未満は切り捨てること。以下同様とする。）を記載すること。

4 の欄は、の専用部分の延べ面積のうち、この申告書に係る事業所部分の延べ面積（以下「専用床面積」という。）を記載すること。

なお、この専用床面積は、第 44 号様式別表 1 の「専用床面積ア」の欄と一致するものであること。

5 の欄は、オの欄の数値を記載すること。

6 の欄は、次により記載すること。ただし、ア、イ及びウの欄は、特定防火対象物である事業所等について記載すること。

(1) アの欄は、共用部分の床面積（以下「共用床面積」という。）のうち、地方税法施行令（以下「政令」という。）第 56 条の 43 第 2 項に掲げる消防設備等に係る床面積を記載すること。

(2) イの欄は、共用床面積のうち政令第 56 条の 43 第 3 項第 1 号イ、第 4 号及び第 5 号イに掲げる避難階段等に係る床面積を記載すること。

(3) ウの欄は、共用床面積のうち政令第 56 条の 43 第 3 項第 1 号ロ、第 2 号、第 3 号及び第 5 号ロに掲げる設備等に係る床面積に 2 分の 1 を乗じて得た面積を記載すること。

(4) エの欄は、共用床面積のうち、ア、イ及びウ以外の非課税に係る共用床面積を記載すること。

(5) ア～オに記載がある場合は、別表 2 に準じて、該当項目ごとにそれぞれの床面積を記載した明細を添付すること。